

「田中正造の生涯 2. 正造思想の根っこはどこから！」

日 時 2026年2月8日(日)

13:30~16:00 開場(13:00)

場 所 館林市文化会館小ホール

館林市城町3-1

資料代 300 円(学生無料)

講 師 赤上 剛(田中正造研究家)



〔正造思想の根っこを考えよう〕

- ・名主の責務 儒教
- ・幕末・明治初期に渡良瀬川、利根川一帯に盛んだった「富士講」「不二孝」
- ・尊王・草莽の志士 天狗党事件、出流山事件
- ・『西国立志編』初の西洋思想を獄中で読む（五回投獄）
- ・自由民権思想、政党
- ・「憲法」「議会」「天皇」
- ・富国強兵、殖産興業、日清戦争、日露戦争
- ・足尾銅山鉍毒事件・谷中村事件と戦争の関係
- ・労働運動、社会主義、キリスト教、非戦・軍備全廃運動
- ・日本の三聖人「岡田虎二郎（静坐）、新井奥達（あらいおうすいキリスト教）、内村鑑三（キリスト教）」
- ・河川行脚、「水の思想」、山・川・海は一体という「治山治水論」（熊沢蕃山）
- ・「天地は我が身、鉍山の採掘は我が身を傷つけること」→「真の文明は……」
- ・日記の絶筆「悪魔を退しりぞくる力なきものの行為の半なかばはその身もまた悪魔なればなり。
…ここにおいてざんげ洗礼を要す。…〇何とて我れを」〇は聖書マタイ伝のことば。
- ・最後のことば「皆さんののは正造への同情で、正造の問題への同情ではない」

第10回(最終回) 2026年3月15日(日)

「今の私たちと足尾銅山鉍毒事件・田中正造」 全員討論